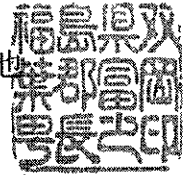


20 富都 333 号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 様

福島県双葉郡富岡町長 遠 藤 勝 也



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

貴職におかれましては、日頃から町政に対するご指導、ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で依頼のありましたことについて、別紙のとおり回答いたしますので宜しくお願いします。

連絡先 福島県双葉郡富岡町都市整備課
電話（代） 0240-22-2111
（直） 0240-22-9006

道路行政を進める上で必要性和投資効果が求められる行政であります、この地域は、国内有数の原子力発電所を抱える特殊な地域であり、地域住民の「生命と財産」を考えると、「避難道路」としての確保が必要であると考えられますが、国・県が所管する道路の整備が遅れております。

投資効果は当然のことと考えますが、しかし、この地域は原子力発電地域であることを踏まえ、住民の「生命と財産」を考えると、投資効果より、必要性が重要であると考えます。

また、現在、国土交通省が定めている道路構造令は、道路の安全性、円滑性の確保の観点から進められておりますが、市町村が管理する道路において、幹線及び補助幹線は基準の構造令を遵守し、地域住民と直接かかわる生活道路などについては、地域の状況を考慮した構造規格に緩和されれば、補助事業として事業採択されることにより、地方の財源も軽減されるものと考えます。

②－１ 地域の現状と抱える課題

○現状

この地域は、国内有数の原子力発電が稼動する特有の地域であります。

近年、多発する大地震による被害や、原子力発電所が一度安全性を失うと絶大な事故に繋がる危険性があることは否めないことからこの地域は、道路の必要性を考える場合には、高速道路、国道、主要地方道路などの幹線となる道路は「避難道路」としての位置づけを最優先して考えなければならない。

しかし、当地域を縦断する道路としては、常磐自動車道が平成26年度に宮城県まで開通予定であります。6号国道については片側1車線の状況と、国道114号、288号、主要地方道小野富岡線の横断道路は、片側1車線で線形が急な道路であり「避難道路」としての機能が果たせている状況とは程遠い現状であります。

また、この地域の人々の流れは他県に向っており中通り、会津地方との交流が希薄になりがちで、内陸部との関わりも殆どないのが現状です。

○課題

縦断道路の6号国道、横断道路の国道114号、288号、主要地方道路小野富岡線の整備が遅れていることにより、今般多発している大地震による被害時や、原子力発電による事故等の「避難道路」としての確保ができていない。

緊急時には、「避難優先道路」「緊急支援優先道路」当の役割分担の位置づけもでき、また、中通り、会津地方との地域間交流も図れることから大きな役割が発揮できると考えます。

②-2 地域の目指すべき将来像

福島県富岡町

21 世紀を迎えた私たちを取り巻く社会経済状況は、生活の質の高度化と精神的な充足を得ようとするライフスタイルの変化に伴う価値観の多様化をはじめ、少子高齢化社会の進行、産業の空洞化、情報革命、地球環境問題の意識の高まり、自然保護、回帰意識、ノーマライゼーション意識の高まり、地方分権、広域合併の推進など、大きく変化をとげようとしています。

富岡町に暮らす私たちは、このような変化や課題に向き合い、豊かな自然・人情・文化を愛し、誇りをもってこの町に暮らし続けるための挑戦者であることが大切であると考えます。

当町においては、平成 13 年度に策定した町政の長期ビジョンとなる、「第三次富岡長期総合計画の後期基本計画」に沿った平成22年度目標年次とし「まちづくり」を進めております。

本計画では、次の5項目をまちづくりの重点施策と位置づけ、常に進行形で実現に向けた推進体制の確立を図るものとします。

①定住人口増加対策 ②交流人口増加対策 ③ 環境対策 ④ 健康・福祉対策 ⑤ 生涯学習・人材育成対策し

本計画の中で定住と交流で発展する都市基盤づくりの道路交通ネットワーク整備として次の項目を挙げております。

「都市交通基盤の推進」「広域幹線道ネットワークの整備促進」「幹線道路の機能強化」「交通弱者対策の広域ネットワークの整備」「道路維持管理の充実」

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

福 島 県 富 岡 町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	常磐自動車道の延伸、国道6号の4車線化	交流人口の増加と、定住人口に繋がる効果が期待できる	
・大規模な地震、火災に強い国土づくりなど	(縦断軸) 常磐自動車道の延伸、国道6号の4車線化 (横断道路) 国道114号、288号、(主)小野富岡線	当地域の縦・横断道路の整備により「避難道路」が確保され地域住民の「生命と財産」の確保が可能	